

株式会社淀川製鋼所
経営企画本部広報課

シュープレス（製紙用設備）製造・販売に関する技術提携についてのお知らせ

株式会社淀川製鋼所（社長 國保善次）では、この度、アンドリッツキュスターズ社（本社：ドイツ）と抄紙工程において不可欠な設備であるシュープレスの製造・販売・サービスに関する技術提携の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

<目的>

当社は、1967（昭和 42）年に、アンドリッツキュスターズ社の前身であるキュスターズ社と製紙用のクラウンコントロールロール（スイミングロール）で技術提携を結び、以来、我々の提携はスイミングロールの技術に基づいたマルチハイドロバリオロールまで拡大してまいりました。結果として、紙の特性をよくする為に、クラウンコントロールロールを用いた様々なカレンダータイプが開発されました。これらのカレンダーもまた提携範囲の一部です。

本題のシュープレスはこれらと同じロール技術を用いた搾水設備で、効率が非常に高い為、当社は取り扱い品目の拡充と国内製紙メーカー様により多くの御提案を行えることを目的に本技術の導入を決定いたしました。このシュープレスにつきましても、これまでのカレンダーやロールビジネスと同様、弊社が何十年も行ってきたように、迅速できめ細やかな対応ができる製造・営業・サービス体制を構築してまいります。

<シュープレスの概要>

シュープレスとは、抄紙機の搾水工程の一部です。その機能は、湿紙から水分をできるだけ多く取り除くことです。これにより、乾燥工程で必要となる熱エネルギーを減らすことが可能となります。従来のロールプレスと比較すると、シュープレスは、比較にならない広い幅のニップを持ち、ニップ圧も低くなります。これにより、紙にダメージを与えることなく、より多くの水分を除去する事が出来ます。

シュープレスによる紙の乾燥効率向上により、以下 2 種類の活用方法がございます。ひとつは、20%乾燥エネルギーを節約した状態で、同量の紙を生産する方法で、もうひとつは、従来通りのエネルギーを投入し、20%紙の生産量を拡大させる方法です。この生産性の向上が、製紙メーカー様にとって、もっとも価値がございます。既存の搾水工程にシュープレスの改造、または新しい抄紙ラインに、シュープレスを導入することによって、生産量拡大による利益を生むことが可能となります。

【本件に関するお問合せ】

株式会社淀川製鋼所 ロール販売本部ロール部非鉄グループ
TEL：06-6472-1275 FAX：06-6472-1286

以上

<シュープレスイメージ図>

